

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（営業担当）	・天候気温の影響により大きく売れ筋商品が変わること と、依然として一点買いの傾向が続く。
		コンビニ（エリア担 当）	・客数は若干下降気味だが、客単価が伸びてきている。 ・長時間スーパーマーケットが時短に形態変更したり、競 合店もスーパーマーケットも出店がなかったり、落ち着い てきており下降線をたどる要素はない。
		衣料品専門店（地域 ブロック長）	・夏物衣料で高額商品が売れたのと同様に、冬物衣料も高 額商品が動く。
		家電量販店（予算担 当）	・オリンピックは終了したものの、液晶テレビやプラズマ テレビなど映像関係の需要は引き続き好調に推移する。
		乗用車販売店（店 長）	・8月は猛暑やオリンピックのため客足が伸びなかつた が、9月からこれらは解消される。
		住関連専門店（営業 担当）	・売上実績は前年対比102%ぐらいである。 ・新築の問い合わせが110～115%になり、新築のお客様の 動きが活発になっている。
		その他専門店〔書 籍〕（従業員）	・9月には大型海外人気小説シリーズの続編が発売され る。また、10月には、その小説の発売日を避けた大型商品 が相次いで刊行される。
		通信会社（企画担 当）	・新サービス、付帯商品の売行きが多少活発化する傾向に ある。
	変わらない	一般小売店〔靴〕 （経営者）	・季節動向の強い商品を扱っているが、季節の変わり目が はっきりしそうになく、季節の初めに商品が動くか予測で きない。
		百貨店（購買担当）	・婦人服の今年のトレンドが昨年と似ており、ヒット商品 として期待できるものが今のところ見受けられない。 ・暖冬が予想され、高単価である重衣料が苦戦する。
		百貨店（売場担当）	・気温の動向に左右される可能性もあるが、ミセス単品 セーターの苦戦が懸念される上、けん引する大きなヒット アイテムが出てきそうにない。
		百貨店（売場担当）	・秋物シーズンに入るが現時点では動きは鈍く、商品量も 例年より少なく、メーカー側も昨年より売れないと見通し を立てているため苦戦する。
		スーパー（店長）	・消費税総額表示後の食料品単価下落の改善見込みはたた ず、顧客の買い回り現象により、買上点数も増加してこ ない。
		スーパー（総務担 当）	・客数、売上高とも伸びてきている。客単価が1～2ポ イントしか上がっていないため不安はあるが、少なくとも今 の状況は持続する。
	スーパー（店員）	・残暑が続くと見込んでおり、その期間は、売上が見込め る。 ・総額表示に伴い売価が低減しており、ますます低くなっ ていくと予測している。	
	コンビニ（エリア担 当）	・大きな新規取引が見込めないが、若干の出店の取引も 入っており、年末にかけては新規店の取引があることも期 待している。しかし、既存店舗の閉鎖や年初に負債を出し た店舗の出方次第では厳しくなる。 ・涼しくなれば、既存店の売上増加も見込める。	
	乗用車販売店（営業 担当）	・秋発表予定の商品ティザー活動を推進中であるが、お客 様の反応に期待出来る物が少ない。	
	自動車備品販売店 （店長）	・お盆まではある程度の売上が見込めたが、それ以後の売 上増の見込みはあまり無い。したがって、今後もどうなる か分からない。	
	観光型ホテル（経 理 総務担当）	・当月は前年よりお盆期間中は客数が伸びたが後半は伸び なかった。9月以降に関しても予約状況から見て前年並み である。	
	都市型ホテル（経 営 者）	・受注見込みは前年同月と比べて数字は良いが、3か月前 と変わらないため今後も変わらない。	
都市型ホテル（総 務 担当）	・宿泊の売上は多少伸びると予測されるが、婚礼や宴会の 受注状況からホテル全体としては変わらない。		

	通信会社（社員）	・通信関係サービスでは、無料サービスを中心に価格競争が続いており、売上の伸びが期待できない。	
	テーマパーク（財務担当）	・宴会の客は伸びているが、通常の入場者数は伸びておらず、今後も伸びるとは予測できない。	
	その他レジャー施設 [温泉センター] （営業企画担当）	・8月度は予約が多かったが、今後の月は逆に事前予約が少ないことから、先の状況についてまったく楽観できない。	
	美容室（経営者）	・依然ほど景気が良いという声も聞かれず、周りでも、良くなるといった感じの顧客もない。	
	住宅販売会社（経理担当）	・新規発売物件が継続して予定されているので、全社的にはモデルルームへの来場者は高水準で継続し、販売戸数も予定を上回る。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・近隣の町に大型店が1か月前にオープンし、その影響からか来客数及び商店街を通行する交通量も極端に減少した様に感じられ、この状態が続く。	
	百貨店（販売担当）	・競合店のリモデルにより厳しくなる。	
	スーパー（店長）	・新規競合店の出店、競合店活性化オープンの影響が出	
	住関連専門店（広告企画担当）	・お客様の準備期間が非常短くなる傾向がまだまだ進行している。景気の良いときには、準備期間が長くなる傾向がある。	
	都市型ホテル（従業員）	・今後2か月間の宿泊バスツアーの集客状況が悪くなっている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・団体客の予約が少ないため、売上の見通しは立っていない。	
	タクシー運転手	・例年に比べて、販売量は減少している。また、原油が値上がりすることにより、1か月の燃料負担が増加するので、全体的に売上はマイナスになっていく。	
	タクシー運転手	・先行きへの不安がお客様の様子から見て取れ、観光という雰囲気ではない。	
		設計事務所（経営）	・今後も購買の動向に変化がみられない。
	悪くなる		
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・どこまでの増産に対応できるか、取引先が確認をするため、関係する会社を訪問している。最大生産能力の受注となりそうである。
	やや良くなる	農林水産業（従業員）	・8月15日に2か月間休養していた沖合底引網が始まった。水揚量もスタートとしてはまずまずである。これから冬に向けて、水揚げ増に期待できる。
		輸送業（統括）	・5月から7月にかけて引き合いのあった仕事が、10月から11月にかけて2、3点の新たな業務として開始される予定がある。
		輸送業（営業担当）	・今後も荷物の量は増加傾向にある。
		金融業（営業担当）	・手元流動性を確保しながらでも借入れをしようとする動きが出ており、商売を広げようとする動きが見られる。
		不動産業（経営者）	・取引先の状況が、少し好転されているように見受けられる。
		広告代理店（営業担当）	・新山口駅南開発が順調で、大手量販店グループを中心とした大型ショッピングモールの周辺に病院施設、企業立地が進ちよく中である。
変わらない	化学工業（総務担当）	・経費節減や業務の合理化、効率化などの社内体制の整備により少し利益が出るようになったが、依然として物流費や原燃料費高騰の影響を受け収益面での景気回復は厳しい。今後は、原燃料費については石炭税等が収益に影響する。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・需要が現在の水準を継続する見込みであり、生産量は低価格商品も受注していけば、まずまずの量が確保できる。	
	鉄鋼業（総務担当）	・中国などで設備投資を抑制する動きがあり、在庫増加の懸念もあったが再び盛り上がりを見せ始めている。中国、東南アジアの活況を受け、製造業を中心に内需が堅調に推移してきている。	
	金属製品製造業（総務担当）	・仕事量は好調であるが、今後、原油やすずの値上がりによる生産コストアップの影響が考えられる。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注価格に上向き加減が感じられない上、現在、受注も控えめみである。	

		通信業（営業企画担当）	・企業通信サービスへの最近の要求は、一時の利用コスト最優先に比べると品質重視の声も高まりつつあり、サービス内容を見直す動きが出てきている。しかしながら、この変化はサービス価格アップを期待できるレベルではなく、業界にとってはさらに厳しい競争状態が続く。
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当） 化学工業（総務担当） 電気機械器具製造業（広報担当） コピーサービス業（管理担当）	・例年、9月以降はおでんシーズンであるが、猛暑が続いており、例年以上に売上がダウンする。 ・石油価格の状況が心配である。今月から一部のガソリンスタンドでは値上げするところも出ており物流に影響がで ・液晶において生産能力の拡大が続いており、需給関係が若干緩むことにより価格が低下する。 ・ITインフラの整備が進み、紙から電子化への文書管理が各企業で進んでいる限り、紙から紙への単純なコピー需要が減少する傾向が続く。
	悪くなる	-	-
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（支店長）	・求人企業側からのニーズは衰える気配はなく、また、若年層を中心に就業者数も増えており、派遣に限らず、紹介や紹介予定派遣での就業者も確実に増加していく。
	やや良くなる	求人情報誌制作会社（支店長）	・新卒求人の代替としての若手中途求人が増えつつある。9月以降は更に増えていく。
		新聞社〔求人広告〕（広告営業担当）	・途中で優良な人材を採用しようとする企業より、新卒で良い人材を採用するほうが効率的と判断する企業が増加している。
		職業安定所（職員）	・来春高校を卒業する高校生向けの求人募集が、前年と比べて大幅に増加している。
		民間職業紹介機関（職員）	・相変わらず自動車関連が好調。新規取引先も増え、人員不足感が日に日に増している。
	学校〔大学〕（就職担当）	・9月内定を見込んだ求人が出ており、求人の好調は続く。	
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・人材派遣の需要はオフィス系以外に、製造派遣や販売職派遣など拡大しており、堅調であるが、有効求人倍率の上昇とともに、スタッフの供給が困難になってきている。また人材サービスへの参入も増えており、競争は激化する。	
	求人情報誌制作会社（支社長）	・現在が好調であるので、これ以上は変わらない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中小企業で未だ景気が上向いておらず、消費にも動いておらず、全般な動きが上がらない。	
	職業安定所（雇用開発担当）	・有効求人数増加の動きが鈍っており現状が続く。	
	職業安定所（職員）	・求人数は増加しているが、パート求人の割合が増加しており、また求職者数も減少していない。	
	民間職業紹介機関（職員）	・特に製造業の中で、中国を中心に、外国との取引が比較的多い企業は注文の先細りを考えているところが出てきている。	
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・これまでのパターンからは、秋を迎えれば各企業の採用活動は多少活発化するが、現時点では地元景気が活性化する材料が乏しく期待は持てない。特に、営業や販売系に比べ事務系の求人が極めて少なく、事務系を希望する学生は苦戦を強いられる。	
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新しい企業の進出予定もなく、工場の閉鎖予定、公共投資減少による建設業の人員整理が増加する。	
	悪くなる	-	-